

神様の裁き〔要約〕

ヨハネの黙示録 13:11~18

- 11 また、私は見た。もう一匹の獣が地から上って来た。それには小羊のような二本の角があり、竜のようにものを言った。
- 12 この獣は、最初の獣が持っているすべての権威をその獣の前で働かせた。
また、地と地に住む人々に、致命的な傷の直った最初の獣を拝ませた。
- 13 また、人々の前で、火を天から地に降らせるような大きなしるしを行った。
- 14 また、あの獣の前で行うことを許されたしるしをもって地上に住む人々を惑わし、剣の傷を受けながらもなお生き返ったあの獣の像を造るように、地上に住む人々に命じた。
- 15 それから、その獣の像に息を吹き込んで、獣の像がもの言うことさえもできるようにし、また、その獣の像を拝まない者をみな殺させた。
- 16 また、小さい者にも、大きい者にも、富んでいる者にも、貧しい者にも、自由人にも、奴隷にも、すべての人々にその右の手かその額かに、刻印を受けさせた。
- 17 また、その刻印、すなわち、あの獣の名、またはその名の数字を持っている者以外は、だれも、買うことも、売ることもできないようにした。
- 18 ここに知恵がある。思慮ある者はその獣の数字を数えなさい。その数字は人間をさしているからである。その数字は六百六十六である。

黙示録 10 章~14 章は挿入句。
キリストが再臨される前に起こることが書かれている。

(A) 獣の形状

黙示録 13:1 また私は見た。海から一匹の獣が上って来た。これには十本の角と七つの頭とがあった。その角には十の冠があり、その頭には神をけがす名があった。

「海」 = 「異邦人」 「一匹の獣」 = 「反キリスト」
「十本の角」 = 「10 か国連合」 「冠」 = 「統治権」
「7つの頭」 = 「反キリストが支配する国」

黙示録 13:2 私の見たその獣は、ひょうに似ており、足は熊の足のようで、口はししの口のようにであった。竜はこの獣に、自分の力と位と大きな権威とを与えた。

ダニエル書 7:4 第一のものは獅子のようで、鷲の翼をつけていた。見ていると、その翼は抜き取られ、地から起こされ、人間のようになり二本の足で立たされて、人間の心が与えられた。

ダニエル書 7:5 また突然、熊に似たほかの第二の獣が現われた。その獣は横ざまに寝ていて、その口のきばの間には三本の肋骨があった。するとそれに、『起き上がって、多くの肉を食らえ。』との声がかかった。

ダニエル書 7:6 この後、見ていると、また突然、ひょうのようなほかの獣が現われた。その背には四つの鳥の翼があり、その獣には四つの頭があった。そしてそれに主権が与えられた。

ダニエル書 7:7 その後また、私が夜の幻を見ていると、突然、第四の獣が現われた。それは恐ろしく、ものすごく、非常に強く、大きな鉄のきばを持っており、食らって、かみ砕いて、その残りを足で踏みつけた。これは前に現われたすべての獣と異なり、十本の角を持っていた。

ダニエルは、歴史的な順番で見えています。 「獅子→熊→ひょう」
しかしヨハネは、将来から過去を振り返ってみている。 「ひょう→熊→獅子」
サタンは、反キリストに力と位(くらい)と権威を与えた。

(B) 獣の復活

黙示録 13:3 その頭のうちの一つは打ち殺されたかと思われたが、その致命的な傷も直ってしまった。そこで、全地は驚いて、その獣に従い、

黙示録 13:4 そして、竜を拜んだ。獣に権威を与えたのが竜だからである。また彼らは獣をも拜んで、「だれがこの獣に比べられよう。だれがこれと戦うことができよう。」と言った。

反キリストは復活する。

黙示録 13:5 この獣は、傲慢なことを言い、けがしごとを言う口を与えられ、四十二か月間活動する権威を与えられた。

黙示録 13:6 そこで、彼はその口を開いて、神に対するけがしごとを言い始めた。すなわち、神の御名と、その幕屋、すなわち、天に住む者たちをののしった。

黙示録 13:7 彼はまた聖徒たちに戦いをいどんで打ち勝つことが許され、また、あらゆる部族、民族、国語、国民を支配する権威を与えられた。

黙示録 13:8 地に住む者で、ほふられた小羊のいのちの書に、世の初めからその名の書きしるされていない者はみな、彼を拜むようになる。

反キリストが復活したとき、全世界的なニュースになった。
サタンが人々から礼拝される。

(C) 獣の支配

42 か月月間=3 年半活動する権威が与えられた。

マタイ 24:15 それゆえ、預言者ダニエルによって語られたあの『荒らす憎むべき者』が、聖なる所に立つのを見たならば、(読者はよく読み取るように)

反キリストに、あらゆる部族・民族・国語・国民を支配する権威を与えられた。
反キリストによる世界的統治、厳しい時代

(D) 励ましの言葉

黙示録 13:9 耳のある者は聞きなさい。
理解力のある人は聞きなさい。

黙示録 13:10 とりこになるべき者は、とりこにされて行く。剣で殺す者は、自分も剣で殺されなければならない。ここに聖徒の忍耐と信仰がある。
殉教者が多くでる。

【地からの獣】

(E) 獣の形状

黙示録 13:11 また、私は見た。もう一匹の獣が地から上って来た。それには小羊のような二本の角があり、竜のようにものを言った。

「もう一匹の獣」 = 「偽預言者」・反キリストと偽預言者は同じ性質
「地」 = 「全世界」
「子羊のような2本の角」 = 「宗教的な支配者」
「2本の角」 = 「サタンによって力を受けている。」

偽預言者は説得力がある。

黙示録 13:12 この獣は、最初の獣が持っているすべての権威をその獣の前で働かせた。また、地と地に住む人々に、致命的な傷の直った最初の獣を拝ませた。

「この獣」 = 「偽預言者」 「最初の獣」 = 「反キリスト」 「致命的な傷の治った」 = 「復活した」

(F) 獣が行う奇跡

黙示録 13:13 また、人々の前で、火を天から地に降らせるような大きなしるしを行なった。

黙示録 13:14 また、あの獣の前で行なうことを許されたしるしをもって地上に住む人々を惑わし、剣の傷を受けながらもなお生き返ったあの獣の像を造るように、地上に住む人々に命じた。

偽預言者が、反キリストの像を作るように命令した。

黙示録 13:15 それから、その獣の像に息を吹き込んで、獣の像がもの言うことさえもできるようにし、また、その獣の像を拝まない者をみな殺させた。

像がものをいうようになる。まるで生きていたかのように話す。
偽預言者が息を吹き込む。反キリストの像を拝まない人を殺す。
YouTube でエルサレム、第3 神殿を見る。

黙示録 13:16 また、小さい者にも、大きい者にも、富んでいる者にも、貧しい者にも、自由人にも、奴隷にも、すべての人々にその右の手かその額かに、刻印を受けさせた。

「刻印」 = 「右の手か額に刻印を押される。」・反キリストの刻印を押されると反キリストのものになる。

黙示録 13:17 また、その刻印、すなわち、あの獣の名、またはその名の数字を持っている者以外は、だれも、買うことも、売ることもできないようにした。

経済活動をするための刻印。その刻印がないと物を買うことも売ることもできない。
第2 次世界大戦の時、ナチスドイツはドイツ人にドイツのマークを与えた。
ユダヤ人は、そのマークがないので仕事に就くことが出来なかった。

黙示録 13:18 ここに知恵がある。思慮ある者はその獣の数字を数えなさい。その数字は人間をさしているからである。その数字は六百六十六である。

「666」はヘブル語のアルファベットの、ある記号を表します。
第2 次世界大戦の時に、ナチスドイツがドイツ人に与えたマークのようなものです。
そして「666」の刻印を押されなければ、売ることも買うこともできないのです。これは餓死するしかありません。大患難時代に落とされると反キリストの像を拝まなければ殺されます、また「666」の刻印を押してもらわなければ餓死します。皆さんのお尋ねしますが、家族がこのような所へ行ってもいいですか。

ローマ 5:8 しかし私たちがまだ罪人であったとき、キリストが私たちのために死んでくださったことにより、神は私たちに対するご自身の愛を明らかにしておられます。

「罪人」 = 「神様に頼らなくてもよいと思っている人。」

かつては私も神様に頼らなくてもよいと思っていました、神様の恵みによって救われました。キリストは罪人のために死んでくださいました。私たちはキリストを信じない人のためにどのような犠牲を払うべきでしょうか。神様はご自分の一人子を犠牲にしてくださいました。私たちはキリストを信じていない人のためにどんな犠牲を払うべきでしょうか。祈りです。時間を割いて祈りましょう。